

■利用案内■

開館日：4月～10月の土・日曜・祝日のみ
 ※平日と11月～3月は閉まっています

開館時間：10:00～16:00

入館料：無料

駐車場：15台無料

※大型バスご利用の場合は、事前にご相談ください

■施設

敷地：面積 942 m²

建物：木造平屋造 延べ床面積 165 m²

その他：網室・屋外水槽など

■主な事業

昆虫類・各種生物の生体・標本の展示、佐用町・千種川の自然の紹介、子どもたちを対象とした各種教室・体験プログラム等

■アクセス



- 中国自動車道「山崎」「佐用」インターから約 21km
- 播磨自動車道「播磨新宮」インターから約 26km
- 神姫バス「船越」バス停すぐ

〒679-5227 兵庫県佐用郡佐用町船越 617

電話：0790-77-0103（昆虫館：開館時のみ）

080-3853-6483（NPO法人こどもとむしの会）

FAX：06-7878-3758（NPO法人こどもとむしの会）

URL：http://www.konchukan.net/sayo

こどもとむしの★秘密基地
佐用町昆虫館

昆虫館 周辺MAP

歩いて3、4分
 250m



昆虫館 周辺案内

めんこいまち



千種川

川遊びができます。ホタルやトンボ、アユ、ハンミョウなどが見られます。



むしむし広場

バッタやトンボがいます。



瑠璃寺のサワグルミ

町指定天然記念物。カミキリムシがやっています。



船越山瑠璃寺

聖武天皇の命で、僧・行基が728（神亀五）年に開いたといわれる。町内で最も古い古刹です。



瑠璃寺奥の院

古くから伝わる話では、行基が夜な夜な光を放つこの場所に、お寺を建てたのが始まりとあります。



こどもとむしの★秘密基地
佐用町昆虫館

ほんもの、
 たいけん



すべてが、ありのまま

船越山のふもと、瑠璃寺の入口にひっそりとたたずむ、小さな小さな昆虫館です。

チョウやトンボなど、たくさんの昆虫がやってきます。池には、イモリやモリアオガエルがここで生まれ、ここで育っています。命あるものが活動する季節に合わせて、4月から10月にだけ開館し、冬は冬眠することになりました。遊びの道具も、何もありません。

でも、きれいな空、木々の香り、せせらぎの音、そして、生き物たちの息吹があります。

もう忘れてしまったような、どこかなつかしい、ふるさとの自然の、ありのままの姿を、お楽しみください。



沿革

- 1971年5月 兵庫県立千種川グリーンライン昆虫館 (兵庫県昆虫館) 開館
- 2008年3月 兵庫県昆虫館 閉館
- 2008年10月 佐用町昆虫館 設置
- 2009年4月 佐用町昆虫館 開館
- 2009年8月 台風9号水害により 休館
- 2010年4月 再開館



虫とりをしよう!

いろんな虫がやってきます。みんなでつかまよう。アミをわすれても、かしてもらえらるから、だいじょうぶ。



手にのせてみよう

いろんな虫を手のにせてみよう。どんな顔してるかな。



虫の赤ちゃんをさがそう

チョウやトンボなど、いろんな昆虫の赤ちゃん(幼虫)が、自然にそだっています。



しらべてみよう

昆虫図鑑や顕微鏡(けんびきょう)もあるよ。じっくりしらべてみよう。



標本づくりにチャレンジ

標本づくり教室をはじめ、いろんなイベントが行われるよ。ホームページもチェックしてね。



どんどん質問しよう

ふしぎなこと、わからないことは、スタッフの人に何でもきいてみよう。

昆虫のことは、まだまだ、わからないことがいっぱいだよ。



みんなの作品を展示しよう

お気に入りの虫を絵にかいたり、みんながつくった標本を、昆虫館に展示しちゃおう。



こんちゅうスタンプを集めよう

かわいいスタンプを押してもらおう。いろんなしゅるいがあるよ。



ポンッ



昆虫館周辺で見られる昆虫



みんなにおねがい!
ゴミは各自、お持ち帰りください。

- ① 千種川生き物ライブ
- ② むしの宝箱
- ③ キッズコーナー
- ④ スタディらぼ
- ⑤ ベビールーム
- ⑥ ほたるピカピカ池
- ⑦ いもりクネクネ池
- ⑧ おにぎりバクバク広場
- ⑨ チョウチョひらひらハウス

